

2F ロビー
Design Gallery

北海道でグラフィックデザイナーやパフォーマーとして活躍する多彩な作家による作品販売。



ねぐせきょうだい
 加賀城 匡貴

アーティスト・絵本作家。1975年、北海道生まれ。英ボーンマス芸術大学中退。99年に「笑い」をテーマにしたステージパフォーマンス「スケルツォ」をスタート。公演／展覧会やワークショップなど、独自の活動を続けている。企画・原案を手がけたNHK Eテレ「ミ・タ・テ」で、札幌ADC準グランプリ、東京TDC賞ノミネート。著書に、学校図書「脳トレパッとブック」(教育画劇)、絵本「ねぐせきょうだい」(中西出版)。



マエダハツエ

1970年北海道生まれ。イラストレーター、画家、フェアリーロード作家。1990年より札幌市にて活動開始。現在は三重県にてフェアリーロードアや宇宙図書館ミニbook等、小さな小さな作品の制作に取り組んでいる。



ワビスabi wabisabi

1999年、工藤「ワビ」良平と中西「サビ」一志によって結成されたデザインコンビ。札幌を拠点にアドバタイジングから、グラフィックデザイン、オブジェ、映像、ファッション、インテリアまで多方面での制作を行っている。「デザ院株式会社」所属。日本グラフィックデザイナー会員、札幌アートディレクターズクラブ運営委員。85TH ニューヨークADC AWARDS 銀賞、86TH ニューヨークADC AWARDS MERIT賞、第8回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2006金賞、TAIPEI INTERNATIONAL POSTER FESTIVAL 銅賞、国際ポスターコンペティション・ショーモン入選、他受賞多数。



川尻竜一

グラフィックデザイナー。1982年北海道留萌生まれ、札幌在住。2010年よりデザ院株式会社所属。広告などのアートディレクションやグラフィックデザインの仕事を手がけるほか、自身のグラフィック作品も制作。JAGDA 新人賞(2021)、札幌ADCグランプリ(2019)、GRAPHIC DESIGN IN JAPAN 仲條正義 This One! 選出(2019)など。JAGDA 会員。札幌ADC 会員。愛犬家。



結城幸司

1964年生まれ。版画家・木彫作家・創作者集団アイヌアートプロジェクト代表。東京日本橋ギャラリーモーツァルトにて10年連続個展。札幌では、ギャラリー創設2019年個展。家庭画報 エッセイ「トワトワ」版画カット作成。2018年スウェーデン、グラノーにて湖畔にモニュメント「シャーマンの木」制作。

2F ロビー
 plus art...
LIVE

観覧無料
 開始30分前に会場前にお並びいただき、順にご案内いたします。ソーシャルディスタンスにご協力ください。

ロビーをアーティストックに彩るちょっと大人な雰囲気のライブ。



11.26.金 / 14:00 ~ 14:30

Aynuartproject

[アイヌ伝統楽器「トンコロ」の演奏]

2000年に代表の結城幸司氏により、アイヌ伝統文化の継承と現代アートとの融合を目的に、伝統楽器の演奏・踊り・伝統手工芸を担当するメンバーで結成された文化表現集団。

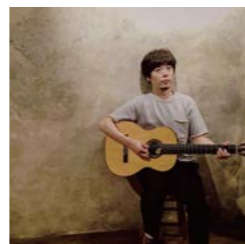


11.27.土 / 14:00 ~ 14:30

成山剛

[アコースティックギター]

北海道根室市出身。眠る前に聴く音。ゆっくり気持ちよく眠れる音楽をコンセプトに音楽を作り始める。北海道在住の3ピースバンド「sleepy.ab(スリーピー)」のボーカル、ギター。



11.28.日 / 14:00 ~ 14:30

田仲ハル

[舞踏]

最北の舞踏家として舞踏カンパニー「極北会」主宰。札幌国際舞踏フェスティバル、北海道舞踏フェスティバル、台湾ダークネスダンスフェスティバルなど招聘。台北ではチケットが即日完売する。国内外の舞踏家と交流を北海道から日本の前衛「舞踏」を発信し続ける。

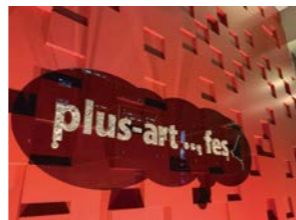


1F エントランス

エントランスアート

告知サインを兼ねた、Kit_Aによるエントランスアートを当館1階ショーウィンドウに設置します。アクリル板を巧みに使い、まるで浮いているかのように見える作品です。

【Kit_A氏の受賞歴】
 2014年第10回茶廊法邑ギャラリー大賞展 優秀賞 / 2015年JRタワー「アートボックス」グランプリ / 2017年第6回札幌500m美術鑑賞グランプリ



1507 アートコンセプトルーム

FOPPISH GIRL room

〈 特別公開 / 12:00 ~ 15:00 〉

ルームアートフェスにも参加のCHIEによる、クロスホテル札幌初のアートコンセプトルーム。紙袋をかぶった女の子「FOPPISH GIRL」が部屋中に隠れています。何人見つけることができるでしょう。
 ※ご希望の方はスタッフにお声がけください。



Ayaka Sato / Ayako Sato / Aynuartproject / CHIE / Hal Tanaka
 Hatsue Maeda / Hiroko Takahashi / Hiroyuki Tamino / Kit_A / Koji Yuki
 Kumi Asoh / Makoto Iga / Masaki Kagajo / Ryuichi Kawajiri
 Ryuichi Kobayashi / SHIORI MUKAI TEXTILE
 Tsuyoshi Nariyama (sleepy.ab) / wabisabi / Yuuki Uryu



CROSS HOTEL
 SAPPORO
 ORIX HOTELS & RESORTS

Illustration by Ryuichi Kobayashi

plus art...fes.2021
 2021.11.26.金 — 11.28.日

会場・クロスホテル札幌(中央区北2条西2丁目23)

開催時間 11:00-19:00(最終入場 18:30) / 入場無料(事前予約制)

主催:クロスホテル札幌、ハナアグラ / お問い合わせ:クロスホテル札幌 セールス&マーケティング課 011-272-0051

ご来場にあたり、ご協力をお願いします

館内ではマスク着用をお願いします。 / 入退館時には手指消毒をお願いします。 / 受付時に検温と体調の確認をさせていただきます。 / 事前予約制で入場人数を制限させていただきますが、混雑の場合は入場をお待ちいただく場合がございます。 / 公共交通機関または近隣駐車場をご利用ください。



お申し込みはこちらから

10 ROOMS × 10 ARTISTS

13F ワンフロアを10作家がそれぞれ1室を担当し、客室を作家の世界観に演出。



1305 SHIORI MUKAI TEXTILE

インドの西の果て、カッチ地方のアジュラクプールで天然染料のブロックプリントを制作する。本来はムスリムだけ、男だけの工房でテキスタイルアーティストとして単身で乗り込み、工房発の外国人ブロックプリンターとなる。従来にない、この技法ならではの模様を表現する。日本では制作と展示活動をベースに全国各地でワークショップやトークショーなどを行い、ブロックプリントの普及活動を行う。



1308 高橋弘子 Hiroko Takahashi

1977年秋田県生まれ、札幌育ち。2013年よりアクリル画、ペン画での作品発表を開始。札幌を拠点に個展開催のほかグループ展へ参加。自分自身、または周囲を観察し、世の中のさまざまなことについて、「それは本当になんなのか、根本はなにか」「生きているとは実際どんなことなのか」といった疑問から発生するテーマを中心に、狼などの動物、岩、植物など、誰もが覚えのあるものを起用した平面作品を制作している。



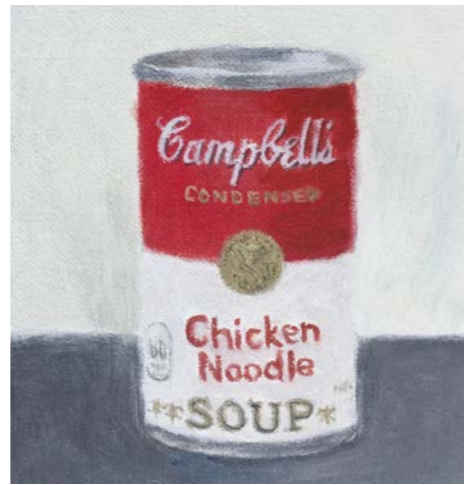
1309 ウリュウユウキ

1976年長野県生まれ。中学校で写真部に入学、写真を始める。高校生の頃より鉄道を使って各地を旅しながら撮影し、2001年に初個展を東京で開く。2003年より札幌を拠点に、ほぼ毎年個展を開催、他多数のグループ展等に参加し発表する傍ら、紙媒体を中心とするデザイナーとしても活動する。近年は旅の途上の心情と感情を「車窓」を通して記録し可搬化する作品と展示空間を制作し続けている。2017年、札幌芸術の森美術館「札幌美術展旅は目的地につくまでがおもしろい。」に、2020年、北海道立近代美術館「北海道151年のヴンダーカンマー」に出展。2021年10月、札幌・トラムニストギャラリーの柿落とし個展「leave a note ~トラムの窓に置き手紙~」を開催。



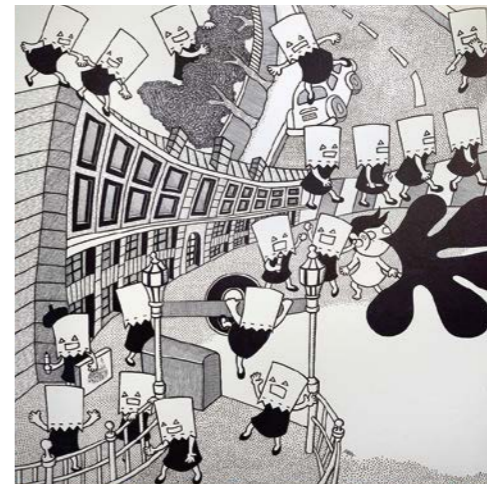
1312 小林龍一 Ryuichi Kobayashi

1988年生まれ、札幌市在住。フリーランスのグラフィックデザイナー、イラストレーターとして活動。アートワークとして年に数回グループ展や個展を開催。自然や暮らしの中からインスピレーションを受け、日々の生活に心地よく溶け込むようなモチーフをモノタイプで表現。日本グラフィックデザイン協会会員。北海道イラストレーターズクラブアルファ会員。



1303 民野宏之 Hiroyuki Tamino

1956年北海道岩見沢市生まれ。1983年油絵を始め、翌年、地元札幌「ギャラリーたびお」にて初個展を開催。1992年南青山のギャラリー「SPACE YUI」での個展を機にフリーで活動を開始。以降、札幌、東京、大阪、神戸、仙台、和歌山、奈良、福岡、香港他、各地で個展を開催する他に、書籍装画(カズオ・イシグロ、東野圭吾、湊かなえ、乃南アサ、内田康夫、カポーティ、サルトル 他)、カレンダー(資生堂、アリタリア航空、他)、雑誌挿絵なども多数手掛ける。



1304 CHIE

札幌在住。1997年に誕生した「FOPPISH GIRL」だけを紺と白の世界で描き続けている。About「FOPPISH GIRL」私は話すことが苦手だ。気持ちを伝えることも得意ではない。だから私は分身をつくった。その子の名前は「FOPPISH GIRL」。紙袋を被ったその女の子は、決して顔を見せない。人って、顔が見えないと色々なことまでできちゃう。恥ずかしい事やバカげた事、口には出せない気持ちまでも。虚無感や整理できない感情を分身に委ね可視化し、分身と対話し探り出した道や心象風景と、現実風景の融合により1つの物語を描く。彼女たちと共に、記憶を記録する。



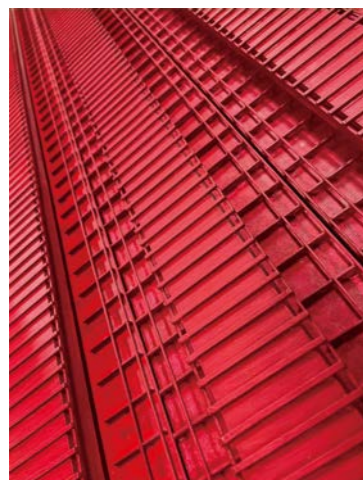
1306 さとう綾子 Ayako Sato

1974年小樽市生まれ。札幌市在住の日本画家。北海道教育大学札幌校教育学部芸術文化過程美術・工芸コース卒業、同大学院修了。道展会員。2015年フランス・パリ「恒久平和展」、2017年台湾・台北「第1回台日藝術博覧会~Art Station2017~」、2018年中国・西安「西安北海道中日友好美術展」など海外の展示、2000年北海道立近代美術館「北の日本画展」、2015年国立新美術館「第2回雪舟国際美術協会」、2021年大丸札幌美術館「明日を担う作家たち JANUARY COLLECTION」他、個展、グループ展、など多数出品。



1307 麻生クミ Kumi Asoh

札幌市出身でインドネシア・バリ島に在住しパティック(ろうけつ染め)制作を続け現在に至るインドネシア・パティックの伝統的技法を学び、それを生かして独自のデザインと色彩でろうけつ染めを表現しています。2014年以降、毎年春に札幌資料館にて「Wind from Bali」とのタイトルで個展を開催しています。



1311 伊賀信 Makoto Iga

1961年生まれ、札幌在住。細い木材を主な素材として、綿密に構築した設計図上にパーツを積み上げた幾何学的な作品を制作している。それら建築的な構造物は、抽象的な形状でありながら、ときに、都市のジオラマのようにも見え、またマイクロな世界の結晶のようにも見える。近年は展示空間全体に広がるインスタレーションなど、スケールの大きなアートワークへも展開。新たな表現へと挑戦を続けている。「幾何学的抽象芸術実験室=G.A.A.L」主宰。

